

豊南小学校のESD活動

<活動の概要>

- ・当校は、「豊かな情操とたくましい体を養い、自分の考えで実践できる子を育てること」を学校理念として、ESDを学校理念実現のための手段と捉え、ESDの実践を通して、仲間や地域と関わり合う力の育成を目標とした。
- ・具体的には、たけのこフェスタ、家族の木を柱に、①地域の環境に関わる活動②農業に関わる学習③歴史に関わる学習を行った。

・活動の実際

①地域の環境に関わる活動（全校）

当校の周りには畑が広がり、森林、竹林といった自然も多い。学校内の森林、竹林で、子どもたちはさまざまな活動をしている。

毎年4月に開催する、1年生を迎える会である「たけのこフェスタ」では、PTAの役員さんが調理したたけのこご飯やみそ汁を味わう。材料の米は前年度の5年生が育てたもの、たけのこは今年度の5・6年生が掘ったものである。「たけのこプロジェクト」は児童が企画・運営し、ペア学年とクイズラリーなどを楽しむ。果樹園では、「家族の木」を、1世帯で1本世話をし、果樹を育てている。子どもたちは定期的に観察したり、世話をしたりして、家族で話題にしている。



たけのこフェスタ



たけのこプロジェクト

②農業に関わる学習（5年生）

当校には水田があり、5年生がPTAの協力を受けながら稲を育てている。子どもたちは、春に田植えをし、秋には稲刈りをしている。刈った稲は、天日干しをしたのち、脱穀をする。収穫された米は、翌年のたけのこフェスタの「たけのこご飯」の材料となるため、子どもたちは収穫量に関心を持ちながら活動をしている。たけのこ、シイタケについても、学校内の竹林から収穫するなど、地域の豊かな自然が生活に根づいている。



田植えの様子

③歴史に関わる学習（6年生）

社会科の戦国時代の学習の際、かつて豊南校区にも城があったことを知った子どもたちは、城下町にある畔田城址に強い興味関心をもった。そこで、実際に畔田城址の見学を行った。畔田城址の立地や構造を調べたり、城下自治会のかたに案内をしてもらったりすることで、地域の歴史や畔田氏について更に知りたいという追究意欲を高めることができ、より地域に愛着をもって接するようになった。



畔田城址見学